

新宿区では、平成22年4月に「文化芸術創造のまち 新宿」を実現していくための指針として「新宿区文化芸術振興基本条例」（以下、条例）が施行されました。条例では、文化芸術の振興に関する施策の基本的事項について調査審議する新宿区文化芸術振興会議（以下、振興会議）が設置され（条例第17条）、区内の文化芸術活動等を持続的・継続的に促進していくために、文化芸術活動等の調査検討を行い、区長に対して意見を述べるができることと規定されました（条例第18条）。

「文化芸術創造のまち 新宿」の実現に向け取り組んでいます。

新宿区文化芸術振興会議委員



（委員 後列左から）

舟橋香樹 大和滋 乗松好美
小口弘史 佐藤清親

（委員 前列左から）

松本洋子 星山晋也 高階秀爾会長
垣内恵美子副会長 高取美奈子

（委員 右上）

石丸恭一



まちの記憶を継ぐ・活かす まちへの愛着と誇りを育てる

p17

- 「新宿区地域文化財制度」の創設「末広亭」や「神楽坂をどり」等15件を認定
- 新宿のまちの魅力を再発見する「新宿まち歩きガイド」等のまち歩きツアーの実施



ふれあいフェスタ 2011
(江戸幕府鉄炮組百人隊保存会)



新宿まち歩きガイドツアー

「私たち区民」によるは、非常に多岐にわたる議において、その取組状況でしたが、これらに進められてきています。「私たち区民」によるが、多くの人々に感動や活への潤いと豊かさをもいます。そして、それぞれ新宿の特徴を十分に活かして主体的に活発な文い、そのつながりやふれな文化を創造していくこいます。

子どもの生きる力と 豊かな心を育む

p21

- 地元の美術館と区民ボランティアの協力による「対話型美術鑑賞教室」の実施
- NPO団体等からの提案を受けた「乳幼児から始める文化活動発信事業（新宿区協働事業提案制度）」の実施

p15



乳幼児から始める文化活動発信事業



対話型美術鑑賞教室

新宿からの文化芸術を創る・発信する
民（みんな）の力でつくられたまちを支える
新宿のまちに人を惹きつける
新宿力のふたをあける（発揮する）
多様な人と人とをつなげる

p25

- 文化芸術活動団体、企業、学校等が交流し、互いの持つ力を融合させた情報発信等、文化芸術の取り組みの可視化・顕在化
- 10月～11月を「文化月間」と設定し、多様な文化芸術活動団体により「来て・見て・楽しい 新宿フィールドミュージアム2011」を試行的に実施（28団体参加・52イベント実施）

文化芸術活動
 ており、振興会
 況の確認を行っ
 取り組みは着実
 す。

様々な取り組み
 喜びを与え、生
 たらしてくれて
 れの担い手が、
 し、新宿を舞台
 化芸術活動を行
 あいにより新た
 とが求められて



「染の小道」2012



学生クリエイターズフェスタ in 新宿 2011

**区内における文化芸術振興
 の拠点としてのこれからの
 新宿文化センターのあり方**

p30

- 指定管理者（公益財団法人新宿未来創造財団）事業計画書に提言内容を取り入れ、従来のイメージを超えた多彩なジャンルの公演などの実施による利用者層の拡大
- 「キングランアニソン紅白2011」の実施に合わせた、年末年始の試行的開館の実施



国際都市新宿 踊りの祭典



新宿ユース・ブルースフェスティバル

- 新宿に住む人、新宿のまちを訪れる人に、「歩きたくなる、
- フィールドミュージアムづくりを通して、
「私たち区民」の活動がもっと活発にな
新宿のまちの魅力を掘り起し、創造
子どもの生きる力と豊かな心を育むこ



～元気つなげよう～
新宿芸術天国 2011

新宿フィールドミュージアムのターゲット（対象・狙い）

私たち区民	区 民	フィールドミュージアムを通じた新宿のまちへの気づき（再発見）、
	文化芸術活動団体	地域に埋もれた文化資源等の発掘、新宿発の文化芸術の創造・発信、
	学 校	歴史や伝統文化の保存理解・継承の場としての活用・参加、体験教
	企 業	地域に埋もれた文化資源等の発掘・保存・継承、新宿発の文化芸術の
	新宿区・財団	フィールドミュージアムのしかけづくりとコーディネート 地域に埋もれた文化資源等の発掘・保存・継承、新宿発の文化芸術の
	新宿のまちを訪れる人	フィールドミュージアムを通じた新宿のまちへの気づき（発見）、ス

「文化月間の設定による新宿の魅力の集中的・連続的発信」 + 「歴史文化遺産

今の新宿を楽しむ文化月間の設定 p35

10月と11月を文化月間として設定し、「来て・見て・楽しい 新宿フィールドミュージアム2011」を
試行的に実施（文化月間型フィールドミュージアム）

■主催

来て・見て・楽しい 新宿フィールドミュージアム協議会
（区内の文化芸術活動団体等による協議会）

■ロゴ及びロゴマーク



■開催期間

平成23年10月1日（土）から平成23年11月30日（水）まで

■開催内容

文化月間中に文化芸術活動団体等28団体が52件の文化芸術
イベントを実施し、新宿のまちの魅力を集中的・連続的に発信

■参加者

97万7395人（参加団体アンケートによる）

■広報活動

協議会の各構成団体、新宿シティプロモーション推進協議
会、公益財団法人新宿未来創造財団、新宿区による広報活動
（オフィシャルガイドブック、ポスター、チラシ、Web
等）や鉄道事業者等へのパブリシティの実施



トラッド・ジャズ・フェスティバル in ハレクラニ



区内大型ビジョン（ユニカビジョン）を活用した情報発信



神楽坂まち飛びフェスタ 2011



新宿フィールドミュージアム
オフィシャルガイドブック

来て・見て・楽しい新宿のまち」を実感してもらえらること。

り、ネットワークとしてつながること。
 ができること。
 とができること。

子ども・高齢者・外国人等あらゆる区民の文化芸術への興味関心の向上や活動の活性化
文化芸術体験・鑑賞の場の提供
育・鑑賞教育の場としての活用・参加
創造等への支援、体験・鑑賞の場の提供
創造等への支援、体験・鑑賞の場の提供
ピーカーとしての発信、リピーター化



東京都立総合芸術高等学校
新宿プロムナード展覧会

等を活用した新宿の魅力の（再）発見」によるフィールドミュージアムの実現

歴史文化遺産等を活用した新宿の魅力の（再）発見

p35

p40

文化財、歴史的建造物、近現代遺産、歴史上の人物ゆかりの地、博物館・美術館、地名（町名）などを巡り、新宿の魅力を（再）発見する歴史発見型フィールドミュージアムの実現のための取り組み（平成23年度）

■実施主体

地域団体、ガイド団体、公益財団法人新宿未来創造財団、新宿区等

■実施内容

地域資源の掘り起こし

- ・ 広報しんじゅく、地域文化財周知用チラシを活用した地域資源の掘り起こしの呼びかけ
- ・ 国登録有形文化財への登録を視野に入れたNPOとの協働事業「神楽坂のすてきな建物探し」
 - ・ 「末広亭」や「神楽坂をどり」など15件の地域文化財を認定
 - ・ 矢来能楽堂や旧常盤家本館など神楽坂地区で5件、区全体で7件の国登録有形文化財登録

現地顕彰

- ・ 文化財説明板等116基、坂道標柱98基の点検及び老朽化、破損したものの補修・更新
- ・ 「見番横丁」、「神楽坂仲通り」など新規道路通称名を5路線設定
- ・ 四谷地区14坂の標柱にフィールドミュージアムロゴシール貼付

情報発信

- ・ 「五感で楽しむ新宿観光ガイドブック」（発行：公益財団法人新宿未来創造財団）への歴史発見型フィールドミュージアム資源等の掲載
- ・ 「ガイドと歩く新宿あれこれ 新宿まち歩きガイド」（発行：公益財団法人新宿未来創造財団）の改定、モデルコースの掲載

区内まち歩き事業

- ・ 文化歴史探訪の実施（4件、延257人の参加）
- ・ 新宿まち歩きガイド運営協議会によるまち歩きツアーの実施（33件、延696人の参加）



矢来能楽堂 国登録有形文化財



末広亭（新宿区地域文化財）



歴史文化遺産を活用した新宿の魅力再発見ツアー



坂道標柱「ロゴシール」貼付



五感で楽しむ新宿観光ガイドブック